

# 提 案 概 要

実施期日	8月2日(火)
部 会 名	中学校 総則部会

## 1 提案テーマ 『「小中一貫教育」の推進について』

## 2 平成27・28年度神奈川県中学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

- ① 学習指導要領の内容を踏まえた特色ある教育課程の編成の工夫・改善

## 3 学習指導要領との関連

### 第1章 総則 第1 教育課程編成の一般方針

1 (一部略) 学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、生徒に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない。その際、生徒の発達段階を考慮して、生徒の言語活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮しなければならない。

## 4 実践に向けての課題意識

新しい環境での学習や生活へ移行する小学校から中学校への進学において、進学後の生徒指導上の諸問題につながる状況(いわゆる中1ギャップ)が社会的な問題となっており、小・中学校間の接続を円滑に行う必要性が高まっている。小・中学校間の連携の重要性を認識し、市では平成23年2月に「小・中一貫教育」基本方針を策定した。その基本方針に基づき、現在の小中連携の取組を一層推進し、小・中学校が滑らかな接続ができるよう「小中一貫教育」に取り組んでいる。

## 5 実践の概要

「小中一貫教育」が目指すものは、現在各中学校ブロックで行われている小中連携の取組の延長線上にあり、その取組をさらに充実させようとする連携型小中一貫教育である。子どもが期待をふくらませ中学校に入学できるようにするためには、中学校ブロックにおける教育的ニーズや実情を踏まえ、教職員が互いを理解し連携を図り、滑らかな接続を進めることが大切である。そのため、「目指す子ども像(共通の目標)の設定」「教育課程編成の指針による9年間を見通した教育課程の編成・実施」、「小・中学校での協働実践の充実」の三つを基本的な柱として、各中学校ブロックで「目指す子ども像」を設定し、具体的な推進組織を構成して、子どもの「育ちと学びの連続性」を保障することを目指して取り組んでいる。

## 6 成果と課題

### 【成果】

- ・目指す子ども像(共通の目標)の設定をすることによって、児童生徒の学びや目指すべきゴールを見据えて小・中学校が具体的に研究を進めることができた。
- ・目指す子ども像(共通の目標)の設定をする際に、学習意欲や学力向上などの小・中共通の課題について考えるよい機会となった。
- ・小・中学校の教職員の交流が深まり、連携につながった。
- ・校種間を越えた児童生徒の理解が深まった。

### 【課題】

- ・教職員の共通認識・意識をさらに高める必要がある。
- ・中学校ブロックの多くは小学校複数校、中学校1校で構成されているため、日程調整に工夫が必要である。

## 7 予想される協議の柱

教職員間の共通認識や理解を深めるための取組や工夫について